



めざせ! One大阪 ISHIN TIMES 維新タイムズ

Vol.1

令和4年度

発行 大阪維新の会
大阪府議会議員団

<http://osaka-ishin.jp/>

〒540-8570
大阪市中央区大手前
2丁目1番22号(大阪府庁内)

TEL (06)6946-5390
FAX (06)6946-5391

令和4年度

大阪府当初予算が成立

3兆7,798億円 (一般会計)

コロナ禍を乗り越え、成長の土台をつくる!

大阪維新の会 大阪府議会議員

やまもと

山本 しんご

の府政報告

大阪府議会2月定例会は、吉村知事提出のコロナ対策と社会経済活動の両立を図る令和4年度当初予算案をはじめ、維新府議団が提案した府議定数9人削減条例案及びインターネットの誹謗中傷防止条例案などを可決して3月24日に閉会しました。

私は、この定例会の都市住宅常任委員会で質問に立ち、地域住民の安全・安心な暮らしを支える公共施設の整備やまちづくりなど所管事項にかかる諸課題について、府の関係理事者と議論を交しました。その概要をご報告いたします。



吉村洋文知事



山本真吾

ロシア非難決議を
全会一致で可決!!



大阪府議会は令和4年3月1日、ロシアによるウクライナ侵略について「力による一方的な現状変更は断じて認められない」などとする非難決議を全会一致で可決しました。

山本しんごの委員会質問 (令和4年3月14日 都市住宅常任委員会)

阪神高速14号松原線橋梁架替え工事 (喜連瓜破～三宅JCT)

Q 松原線三宅出入口付近から喜連瓜破出入口まで令和4年6月初旬から約3年間終日通行止めとなる。渋滞による交通影響への対策検討は?

A 他の高速道路への迂回料金が松原線利用料金を上回らない措置を基本に検討。特定場所の交通集中の抑制に、乗り継ぎ経路の複数設定で交通分散を図る。また、一般道の広域的な信号の調整や、瓜破交差点での車線運用の見直し等を検討。工事期間中も交通状況を適切に把握し必要に応じ対策の見直しを行う。

松原ジャンクション大堀地区の道路休憩施設の活用

Q 大堀地区の松原ジャンクションでは、令和3年9月、関係者の協力で道路休憩施設が整備され、商業施設の立地等で活性化し喜ばれている。また、河川とも隣接し自然に親しめるこの施設を、賑わい楽しめる憩いの場にしていくべき。今後の取組みは?

A 当該休憩施設を自転車利用者の拠点として、誘導案内表示の設置や、利便性向上を図るサイクルラックの設置などを検討している。引き続き、松原市や地元など関係者とともに、より魅力ある休憩施設となるよう取組んでいく。

可動式ホーム柵の整備促進

Q 可動式ホーム柵は、転落事故を防ぐ有効な手段。実際にOsaka Metroでは整備後、転落事故はないと聞く。

Q 近鉄南大阪線・大阪阿部野橋駅の整備柵は、ロープが昇降するタイプで、車両の扉位置が異なるホームでも設置が可能である。引き戸型より開口部を広く取れ、さまざまな車両に対応できる。今後、設置が更に進み、転落事故が無くなることを期待するが、可動式ホーム柵の整備促進は?

A 事故の発生状況等、優先度が高いホームで整備促進を図っており、国と地元市町と共に鉄道事業者に対し補助を行っている。引き続き、補助制度を運用しつつ国・市町・鉄道事業者等と新たな技術開発の情報共有や意見交換をし、新型のホーム柵を含め、可動式ホーム柵の更なる整備促進を図る。

自転車の安全利用に係る啓発 (運転免許更新時を利用し講習)

Q 一部の人は、イヤホンで音楽を聴き、スマホを見ながらノーブレーキで交差点で飛び出すなど、そのマナーが問題視されている。

Q 私の記憶では、小学校時代に自転車走行講習を受けたが、その後は手厚く行われていないと感じる。最近コロナの影響もあり自転車の利用が増えており、より一層の啓発が必要で重要。

Q 運転免許講習も自転車走行啓発も目的は交通安全。例えば、運転免許の更新時講習の機会を利用し、自転車の安全利用について啓発出来れば、幅広い年齢層に啓発できると考えるが?

A 効果的な啓発には人が多く集まる機会の活用は重要。お示しの更新時講習の機会を有効活用し、多くの方々に自転車安全利用の啓発ができるよう、大阪府警察や関係機関団体と協議、検討していく。



府政に関する相談やお問合せは

山本 しんご 事務所まで

〒580-0044 松原市田井城1-1-18

TEL (072) 338-8880

山本しんごの委員会質問 (令和4年3月14日 都市住宅常任委員会)

新しいまちづくりのグランドデザイン

2050年の大阪を描く新しいグランドデザインを、令和4年夏頃に素案提示予定と聞いている。松原市から美原区の国道309号沿いでは、民間資金による大規模市街地開発が進んでいる。松原市丹南交差点を中心に松原市新堂地区では約3万坪の大規模商業施設(令和5年の開業予定イオンタウン)の立地が決定。堺市美原地区には三井らぼーとが建設中で、その向かい側にビバホーム商業施設が昨年に開業した。

また、堺市は美原区役所等を核とした新たな都市拠点の形成に取り組み、周辺は今後更に発展が見込まれる。更に、堺市中心部から大阪中央環状線を通り、丹南交差点で国道309号を南下し美原エリアと結ぶ幹線道路を活用したBRT(バス高速輸送システム)「SMI美原ライン」の導入も堺市で検討されている。この様に、幹線道路が交通軸としてより一層機能することで、地域の活性化、拠点性の向上につながることを考える。

更に「SMI美原ライン」は、堺から美原地区へのアクセスだけでなく、その先には、松原市中心部、羽曳野市、富田林市、大阪狭山市につながり、堺からの東西軸にとどまらず、南河内への南進軸の交通インフラとして期待できる。

2050年のグランドデザインには、幹線道路を活用したまちづくりについても検討すべきと考えるが?



Q

A

新しいまちづくりのグランドデザインでは、交通ネットワーク上を中心に、多様な都市機能を備えた拠点等を配置し、相互に連携する都市構造について検討している。新技術の導入などによる中長期的なモビリティの進展も見据え、ネットワークとして、幹線道路も活用したまちづくりを行うという視点が必要と認識。

南河内の国道309号沿いでは、お示しのとおり、交通ネットワークを活かした民間主体の取組みが着実に進められている。

今後とも、市町村からの相談・協議の際には、グランドデザインでの検討の方向性を踏まえ、連携して幹線道路を活用したまちづくりを推進していく。



要望

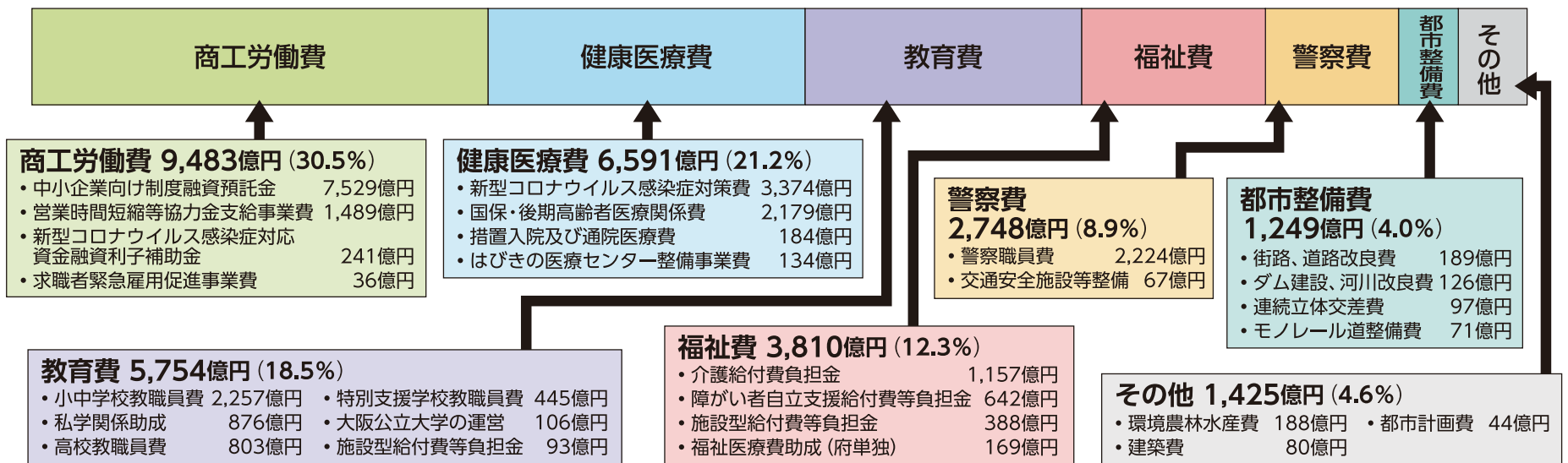
中央環状線と309号線丹南交差点を起点に、堺市美原区、富田林市、河内長野市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村、羽曳野市等に対して交通インフラの拠点になって南河内発展のために、しっかりと計画を創って頂きたい。



大阪府の一般会計予算(3兆7,798億円)の内訳(令和4年度)

3兆7,798億円から税関連支出、積立金及び公債費を除いた、3兆1,060億円の歳出内訳(目的別)は次のグラフのとおりです。

一般歳出総額 3兆1,060億円



山本真吾が議会広報テレビ・WEB動画へ出演し府政を広報

テレビ番組 宇賀なつみの大阪府議会12のなるほど!

・関西テレビ(8チャンネル) ・令和4年1月~3月(12回)毎週日曜日11:45~11:50
 山本真吾の出演:2月27日(第8回 テーマ:新大学の開学)



WEB動画 48(フォーエイト)の大阪府議会に聞いてみたら...

関西テレビ公式YouTubeチャンネル「カンテレchannel」

YouTube48
 「フォーエイトの大阪府議会に聞いてみたら〇〇だった」
<https://youtu.be/ittoRrllCFw>



配信日・毎回テレビ番組放送後(配信後3か月視聴可能)